

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	埼玉県青少年総合野外活動センター
指定管理者	小学館集英社プロダクショングループ
評価対象年度	平成25年度
施設所管課	青少年課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の安心・安全、平等利用の確保	安全性の確保	A	・危機管理マニュアルに基づいた事故防止等の安全対策が行われた
	法令等の遵守	A	・法定点検業務等は適切に行われている。県への報告も適時、適切に行われている。
	平等利用の確保	A	・条例に定めた利用日、利用時間を遵守しており、利用許可についても基準に従い適切になされている。
	個人情報の保護	A	・個人情報の規程を整備し、運用については適切な対応がなされている。
施設の設置目的の達成	事業の実施	A	・60回、1,000人の目標に対し、66の自主事業を実施し、1,790人の参加者があった。
	利用状況	A	・利用者数は、63,380人と管理目標53,045人を大幅に上回った(10,335人増)。
	適切な管理の履行	A	・年間の維持管理計画と毎日の作業チェックシートに基づき、適切に施設の維持管理が行われた。 ・協定書や事業計画に沿って適切な管理が履行されている。また、人員配置も適切である。
	財産の適切な管理	A	・消火・避難訓練や定期安全点検の実施など維持管理計画に基づいて適切な財産管理を行った。
利用者サービスの向上	サービス内容の向上	A	・利用者アンケートの実施と利用者の声を管理及び自主事業に反映している。
	利用者の満足度	A	・利用者アンケートでは、全ての項目で90%以上であった。職員対応については98%の利用者が満足と回答している。
適切な経理処理	指定管理業務の会計処理	A	・利用料金は、適正に管理されている。また、専用口座で管理されており、経理区分も整理されている。
	自主事業の収支	A	・計画を上回る自主事業を実施し、適切な会計処理を行い、収支はプラスとなっている。
総合評価		A	・利用者数、主催事業、キャンプカウンセラーの養成及び利用者満足度のすべての項目で管理目標を達成した。

特記事項	特に評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度を導入した平成18年度以降で最も利用者数が多かった。6万人を超えたのは平成元年以来23年ぶり。 ・自主事業の参加者数が、過去最高となった。
	次年度に向けて改善が望まれる点	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き適切な施設管理を行うとともに、さらなる利用者増が図られるよう、効果的なPRの実施など、継続的な取組が必要である。 ・2月の大雪ではスタッフ3名が1週間閉じ込められてしまった。災害時には適切な情報収集を図りスピーディに対応が取れるよう、日頃から高い危機管理意識を持つことが必要である。